

2021年度 日本学生トライアスロン連合

拡大理事会 兼 学生総会

総会資料兼議事録

議事録作成者 渡邊純一郎

日時：令和4年3月5日(土)

場所：zoom

## 議事案

### 8. 開会宣言

林副理事長

### 2. 会長挨拶

宇佐美会長不在のため、林副理事長挨拶

### 3. 出席確認

#### 【出席者（34名）】

理事：林、中山、田中（理）、田中(健)、嶋村、平岡、中村（7名）

学生：古閑、笠見、鍛代（代理出席）、夏目、長尾、大橋、橋本、平、高濱、畑、赤木、

高木（基）、伊藤、栗原、沢部、渡邊（純）、庄原、秋田、岡村、小野、渡邊（龍）、

清宮、西山（23名）

事務局：鈴木、芦屋、大宮、二神（レースディレクター）（4名）

#### 【欠席者（8名）】

理事：福嶋、宇佐美、良田、渡辺、佐藤（4名）

監事：関（1名）

学生：高木（遥）、工藤、晴枝（3名）

出席者が2/3以上の定足数を満たしているため、本総会の成立が認められました。

#### 4. 議長・議事録作成者・議事録署名人の選出

議長に古閑学生委員長、議事録作成者に渡邊学生委員、議事録署名人に林副理事長と栗原学生委員がそれぞれ選出され、承認された。

#### 5. 2021年度 報告事項

##### 第一号議案 2021年度 決算報告

伊藤)収支についての報告。収入の部について。新型コロナウイルス感染拡大で中止になった大会の収支が0になったことや補助金が出たことなどを報告。

支出の部について。中止になった大会であっても、計測費がでたことやTシャツの作成をすでに行っていたことなどから支出がでたことを報告。その他予算額と決算額について報告。

芦屋事務局員)監査報告。厳格な監査のもと、承認がされたことを報告。

質問・異議等はなく、第一号議案は了承された。

##### 第二号議案 2021年度 事業報告

大会運営委員会 事業報告 (2021年度委員長 笠見 采可)

笠見)コロナウイルスの影響下ではあったが、多くの方の協力により3大会を無事に行うことができた。

新型コロナウイルスの感染症対策を十分に行って大会を実施することができた。しかし、大会参加者の中で利用禁止エリアを利用している参加者がいたため、来年度は運営委員による説明・注意等を十分に行っていく。

審判委員会 事業報告 (2021年度委員長 高木 遥)

鍛代)高木審判委員長が欠席のため、鍛代副学生委員長が代読。3大会ともに鍛代副学生委員長が審判委員長の代わりに務めた。次年度に向けて。大会運営時には無線の不調等も考えられるため、来年

度はペナルティ情報のやりとりをLINEのグループで行う。学連HPでペナルティの説明をより細かく行う必要がある。

総務委員会

事業報告 (2021年度委員長 夏目 光一)

夏目)JTU選手登録について。JTU登録年度を誤る学生が多かった。広報委員会と連携して情報共有を行っていく。学生連合の領収書発行も総務委員会が行っている。大会の中止などが原因で返金が多かった。来年度も各委員長同士が連携して対応して欲しい。

広報委員会

事業報告 (2021年度委員長 長尾 星史朗)

長尾)仕事の内容について。資料にある仕事以外にも選手からの質問に対してSNSのダイレクトメッセージで回答する仕事も行った。試合時にはメディア規制を行う際に密の状態が生まれたため、来年度は改善したい。

スプリントオープンではコース変更に気づくことができなかった。与えられた情報を流すだけでなく、委員同士で内容を確認することを徹底したい。

選手強化委員会

事業報告 (2021年度委員長 大橋 陽)

大橋)一部のエリートレースは中止されたが、実施された大会については多くの登録者が参加し、競技力向上を図ることができた。

北海道学生連合

事業報告 (2021年度代表 橋本 直樹)

橋本)北海道内では一度も大会が開催されなかった。部員全体が顔を合わせて練習する機会が少なかった。部員のモチベーションの維持とノウハウの継承の難しさが問題となっている。

新3年生はコロナ後に入部した学生であり、北海道学連全体の活動水準が維持できなくなることを危惧している。地域の垣根を超えて協力できる体制を整える必要がある。

東北学生連合

事業報告 (2021年度代表 平 和佳菜)

平)新型コロナウイルスの影響で合宿など多くの活動が中止となった。その中でも大会を運営していただいたことに感謝申し上げます。

関東学生連合 事業報告 (2021年度代表 工藤 瑞生)

工藤関東学生連合代表が欠席のため、笠見大会運営委員長が代読。

笠見) 予定されていた大会の多くが中止となった。実施できた大会についても感染症対策など慣れない作業が加わった。競技自体のリスクに加え、感染症リスクを抑える対応も必要とされた。

東海北陸学生連合 事業報告 (2021年度代表 高濱 寛太)

高濱)9月に、日本学生トライアスロン選手権渡瀬大会の代表選出に関する会議が行われ、10月3日に学連記録会を実施してインカレ代表を選出した。これは前例がない試みであったが、無事に実施することができた。この大会を通じて大学同士の連携が生まれた。少人数で活動している大学が多いことが問題でもあるが、しっかりと連携を図ることもできた。

近畿学生連合 事業報告 (2021年度代表 畑 玲音)

畑)西日本学生トライアスロン選手権は今年度も開催されなかった。昨年度とは異なり、参考にする大会や記録がなく各大学への枠の振り分けができなかったため、10月3日に特別選考会を実施した。

岡山県の中山サーキットの会場をお借りし、地元の方々の協力も得て特別選考会を実施することができた。

中国四国学生連合 事業報告 (2021年度代表 赤木 大誠)

赤城) 昨年度は話し合いによってインカレ出場選手を選出したが、今年度は10月3日に代理大会を実施して選手を選抜した。中国四国全体のインカレ完走率は昨年度よりも低くなったが、個人では好成績を残すことができた選手もいた。

九州沖縄学生連合 事業報告 (2021年度代表 高木 基光)

高木)他学連との連携を図りながら運営を進めることができた。また、九州学連内部で何度も会議を開き、九州地域のトライアスロン連合の方々のご協力を得ながら運営することができた。学生審判を九州から一人も出すことができなかったことが反省点の一つ。

質問・意義等なく第二号議案は承認された。

## 6. 2022年度 活動計画

### 第三号議案 2022年度 学連役員及び学生委員の選出

栗原学生委員)2022年度学生委員名簿に基づいて各委員の氏名、所属大学、学年を報告。新学生役員の候補を読み上げ、総会の承認を得た。

質問・異議等はなく、第三号議案は承認された。これにより、本総会の議長は

古閑2021年度学生委員長から栗原2022年度学生委員長へと委譲された。

### 第四号議案 2022年度 予算案

伊藤会計委員)2021年度会計委員伊藤)収入の部と支出の部について、各大会の2021年度決算額と2022年度予算額についてそれぞれ報告。

質問・異議等はなく、第四号議案は承認された。

### 第五号議案 2022年度 レースカレンダー

鈴木事務局長)2022年度のレースカレンダーについて説明。5月22日の日本学生スプリングトライアスロン選手権大会から2月下旬に行われる予定の日本学生デュアスロン選手権大会について時系列順に説明が行われた。

質問・異議等はなく、第五号議案は承認された。

### 第六号議案 2022年度 活動計画

大会運営委員会

活動計画 (2022年度委員長 沢部 領花)

沢部)時系列順に各大会の名称と日時・開催場所について説明。選手の安全を第一に、スムーズな大会運営を行う予定であることを報告。

審判委員会 活動計画 (2022年度委員長 渡邊 純一郎)

渡邊)審判委員を派遣する予定の大会について報告。主要大会以外にも各地域からの要請を受けて審判委員を派遣することを確認。

総務委員会 活動計画 (2022年度委員長 庄原 八雲)

庄原)コロナウイルス感染拡大の影響による大会の延期及び中止の判断が下される可能性もあり、大会直前に登録が集中することも予測される。期日に余裕を持って登録することを各チームを通じて呼びかける。

広報委員会 活動計画 (2022年度委員長 秋田 佳輝)

秋田)Twitterを活用して情報発信に努める。大会の開催有無が決定された際には栗原学生委員長と連携し、Twitterで情報を発信するよう努める。

選手強化委員会 活動計画 (2022年度委員長 岡村 啓吾)

岡村)コロナウイルスの影響を考慮しながら複数のエリートレースの運営を行う。  
ドラフティング講習会も協会員会が中心となって運営する。

北海道学生連合 活動計画 (2022年度代表 橋本 直樹)

橋本)2019年まで開催されていた苫小牧でのハスカップトライアスロン選手権大会を再び開催することを協議している。

東北学生連合 活動計画 (2022年度代表 小野 史佳)

小野)東北学連春合宿を中止する。インカレ予選については出場選手がインカレ出場枠に影響するため、各大学にエントリーもれが内容に声をかけていく。

関東学生連合 活動計画 ( 2022年度代表 秋田 佳輝 )

秋田)トライアスロンという競技そのもののリスクに加えて、感染症拡大のリスクも低減する大会運営を行っていく。

東海北陸学生連合 活動計画 ( 2022年度代表 晴椋 和也 )

栗原)晴椋代表が欠席のため、栗原学生委員長が代読。2022年度は合同練習会を行うなどして大学同士の交流を広げる。特にスイム力強化を図っていく予定。

近畿学生連合 活動計画 ( 2022年度代表 渡邊 龍太郎 )

渡邊)オンラインでの交流を重視しながら活動していく。近畿普及委員会の方々とも協力して近畿のトライアスロン全体の強化に努める。

中国四国学生連合 活動計画 ( 2022年度代表 清宮 夏生 )

清宮)2022年度の目標は、出場選手全員の完走と、昨年度以上の順位を目指すこと。

2021年度インカレ本戦では女子出場選手数が枠数を下回ってしまった。女子選手の育成に尽力していきたい。早春ロングライド合宿は社会情勢を考慮し中止。

九州沖縄学生連合 活動計画 ( 2022年度代表 西山 凜希 )

西山)コロナ禍により、学連合宿を行うことができていないため、今年度こそは実施したいと考えている。新入部員の落車が多発したため、基礎練習を重視していく。

鈴木事務局長)

インカレの予選会は各地方大会との併催はなく、東日本大会と西日本大会の二つの大会のみでインカレの予選会を行うことが決定したことを報告。



質問・異議等はなく第六号議案は承認された。

## 7. 協議事項

### 第七号議案 2022年度 全日本大学トライアスロン選抜大会 招待枠について

栗原学生委員長)2022年度全日本大学トライアスロン選抜大会の招待枠を獲得した大学(男子7大学、女子5大学)をそれぞれ報告。2021年度に実施された大会の結果をもとに出場枠が割り振られたことを報告。

質問・異議等はなく、第七号議案は承認された。

### 第八号議案 2022年度 日本学生トライアスロン選手権 出場資格について

栗原学生委員長)Aシードの申請は必ず日本学生トライアスロン選手権大会のエントリーを始める前に行う。締め切りはBシードとともに6月12日厳守。

代替予選について報告。代表者選出の計算方法についても説明を行う。

質問・異議等はなく、第八号議案は承認された。

### 第九号議案 2022年度 世界大学トライアスロン選手権 出場者について

栗原)2022世界大学トライアスロン選手権大会へ派遣する選手の選考基準と、それを満たした選手の順位、名前、所属大学を男女ともに報告。出場辞退者並びに選手重複によりロールダウンが発生することなどを説明した。

質問・異議等はなく、第九号議案は承認された。

## 8. 閉会宣言

林副理事長

以上

上記議事録に間違いがなかったことを認め署名します。

令和 4年 3月 5日

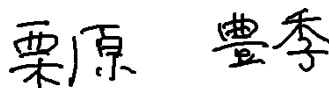
議事録署名人

日本学生トライアスロン連合副理事長



Ⓜ

日本学生トライアスロン連合2022年度学生委員長



Ⓜ

令和4年3月5日

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2021年度大会運営委員長 笠見 采可

### 2021年度 大会運営委員会 活動報告

昨年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で中止・延期になってしまった大会がいくつかありました。大会において様々な規制がある中ではありましたが、3大会を無事に開催することができました。これも皆様のご協力あってのことです。開催にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

#### 1 運営大会について

- ・ 2021年7月11日（日）「2021東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権 那須塩原大会」（栃木県那須塩原市）
- ・ 2021年10月16日（土）「2021 日本学生トライアスロン選手権 渡良瀬大会」（群馬県渡良瀬遊水地）
- ・ 2021年10月17日（日）「2021 日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼 トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会」（群馬県渡良瀬遊水地）

#### 1 昨年度の反省

- ・ 新型コロナウイルスの対策について

昨年度の反省を基に、新型コロナウイルス対策のガイドラインに遵守した大会運営が行えた。来年度も引き続き感染症対策を徹底し、「感染者を会場内に入れない・大会から出さない」ことを目指した大会運営を行っていきたい。

・ 開催地の利用について

参加した大学の中で、大会開催地における利用禁止の場所を使用してしまっていたり、指定外の場所に車を駐車して地域住民の方にご迷惑をかけてしまったりした例がいくつかあった。私たちは地域住民の方の協力をいただきながら開催地を使わせていただいているという立場であることを改めて認識するためにも、来年度は学生スタッフに事前に把握させて注意喚起を行ったり、競技説明会等を通して各チームや関係者全員に周知させたりするなど開催地におけるルールやマナーを徹底させたい。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2021年度副学生委員長 鍛代健亮

## 2021年度 審判委員会活動報告書

### 1. 活動内容

- 7月11日 東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権 那須塩原大会
- 10月16日 日本学生トライアスロン選手権大会
- 10月17日 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会兼  
日本学生トライアスロンチームTT選手権大会

2021年度は上記三大会において審判業務を行った。三大会とも審判委員長が不在だったため、副学生委員長が代理で審判委員長を務めた。東日本学生トライアスロン選手権大会、並びに、日本学生トライアスロン選手権はペナルティーが少なく、審判業務としては特に問題なく大会を終えることができた。日本学生スプリントトライアスロン選手権大会兼日本学生トライアスロンチームTT選手権大会では、予想していた以上にペナルティーが多く、そのほとんどがトランジションエリアで発生したものだ。また、例年ではペナルティー情報のやり取りは無線で行っていたが、この日は無線の調子が悪くてペナルティーボックス担当のTOとうまく連携がとれず、ペナルティーが未消化のままレースを終えてしまう選手がいた。該当選手にはトータルの記録にペナルティーの秒数を加算する対応を行った。

### 2. 次年度に向けて

上記の件では、途中からペナルティー情報のやり取りは無線では行わず、LINEのグループで行うことでうまく連携がとれたので、次年度は同様にLINEを用いて行うことを推奨する。その際、大会前日にペナルティー情報を共有する人のグループを作成しておくことで、当日にスムーズな業務を行えるようにする必要がある。

また、今年度の大会で発生したペナルティーの多くは、大会前に学連HPに載せる動画で注意していることだったので選手に周知しきれていないと感じた。ペナルティーとなる例の写真を用いることで、さらに動画の内容をわかりやすくし、ペナルティーの発生を減らしていくことが重要である。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合  
2021年度総務委員長 夏日光一

## 2021年度 総務委員会活動報告書

### 1. JTU登録承認業務

例年通り、JTU登録の承認処理を行った。今年度は大会前の7.10月に登録が集中したが、2022年度のJTU登録が開始していたことで登録年度を誤ってしまう選手が多くみられた。次年度も引き続き、広報委員会と連携してTwitterやHPなどでの情報共有を行うことで対応する必要がある。

### 2. 各大会について

7月11日(日) 東日本学生トライアスロン選手権 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権

那須塩原大会

10月16日(土) 日本学生トライアスロン選手権

10月17日(日) 日本学生スプリントトライアスロン選手権 兼 チームTT選手権

上記大会において、大会前はスタートリストなど各種リスト作成を行い、大会中は主に受付業務を担当した。今年度は延期が複数回行われたため、エントリー変更及び返金対応が多くみられた。

### 3. 次年度に向けて

#### ・返金対応について

今年度は、西日本学生トライアスロン選手権の中止もあったことから返金対応が多かった。来年度においてもコロナ禍による同様のケースとなる可能性は十分予想されるため、予め返金等における周知が必要

である。また、代替予選等が返金に変わるケースもあるため、大会運営委員長をはじめとした各委員長による連携強化の必要がある。

- ・ 前日受付について

前日受付において、トラバックを作成する際にゼッケン等の重要物の用意を行った。入れ違い等防止のためにも準備時間を多くとる必要がある。

以上



関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2021年度広報委員長 長尾星史朗

## 2021年度広報委員会活動報告書

### 1. 活動内容

主な活動はTwitterおよびメディア規制であった。Twitterでは各種レース情報の洋行やリザルト、落とし物などを掲載し、大会イベントのお知らせなどを告知した。また、過年度の改善案として、Googleフォームを利用して事前に申請を行うことで当日の混雑を解消し、感染症対策に努めた。

### 2. 次年度に向けて

他の委員長との連携が上手くいかず、スプリントオープンではコース変更に気づけなかったことが問題であった。とくに流された情報はこちらでも目を通しておく必要があると言える。

今年度から新たに導入されたGoogleフォームでは、個人申請が多く、密になる可能性があったため、家族や部活による団体申請を行えるようなシステムを作るべきだと感じた。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2021年度選手強化委員長 大橋 陽

## 2021年度 選手強化委員会活動報告書

### 1.活動内容

例年通り、エリート推薦とドラフティング講習会を担当した。

エリート推薦に関して、今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響によって一部の大会の延期・中止等が見られた。しかしながら、開催されたエリート大会では多くの本連合所属選手から推薦の申請が届き、メール対応・推薦状の提出に尽力した。

ドラフティング講習会は大会前日と当日の朝の計二回実施した。ドラフティング講習会に関する情報は広報委員長と共有し、Twitterを通して事前に参加選手に周知をおこなった。

### 2.次年度に向けて

今年度より、一部のエリート大会（日本U19トライアスロン選手権,日本U23トライアスロン選手権,日本デュアスロン選手権）の推薦の際に自転車・研修プログラム（安全テクニク動画）の提出が必須となった。選手の混乱を避けるために、事前に周知の上、見落としのないように改めて策を講じるべきである。その他の加盟団体推薦の申請についても、締め切り期限の厳守や記載事項の漏れが生じないよう、広報委員長らと連携をとり選手に周知していく必要がある。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

北海道学生トライアスロン連合

2021年度代表 橋本直樹

## 2021年度北海道学生トライアスロン連合活動報告

表題につきまして、下記の通りご報告いたします。

### 2021年

7月

11日（日）：東日本学生トライアスロン選手権兼関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権 那須塩原大会  
（栃木県那須塩原市）

10月

16日（土）：日本学生トライアスロン選手権大会（群馬県邑楽郡板倉町 渡良瀬遊水地）

### 総括

今年度も、昨年度に引き続きコロナの影響によって例年とは大きく異なる1年でした。大会に関しては、北海道内で1大会も開催されませんでした。練習環境に関しても、断続的に警戒レベルが上下することで、部員全員が顔を合わせて練習する機会が昨年度同様少なかったです。

これらの影響は、現役部員のみならず、今後入部してくる選手にも悪影響があると感じました。特に問題となっている点は、部員のモチベーション維持とノウハウの継承です。

北海道学連の選手は今年度北海道内で大会が開催出来なかったため、金銭的な問題や試験等のスケジュール的都合により、多くの選手が大会に参加できませんでした。全体練習が少なかったことも相まって、選手のモチベーションが低かったです。

2つ目に、ノウハウの継承が難しくなっています。全体練習の減少によって選手間の知識の共有が上手いって  
いません。また、今年度から役職を担う選手がコロナ後に入部した世代となります。知識・経験が不足してお  
り、北海道学連全体のレベル低下が危惧されます。

これらのことから、大学・地域の垣根を超えて選手同士で繋がり知識の共有及びモチベーションの向上を図れ  
る仕組みを望みます。

最後に2021年度も北海道学連の活動ができたのは、他学連の皆様や大会の運営に携わって頂いた皆様のおかけ  
であります。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

### 2021年度北海道学生トライアスロン連合決算報告

北海道学生トライアスロン連合では、合宿や選手権などの活動費をその都度参加者から調達しておりますの  
で、決算報告はございません。

以上

関係者各位

東北学生トライアスロン連合

2021年度代表 平 和佳菜

### 2021年度東北学生トライアスロン連合活動報告

令和3年度の東北学生トライアスロン連合の活動内容をご報告いたします。

#### 活動報告

3月中旬	東北学連春合宿	→中止
5月	第一回学連総会	
7月11日	東日本学生トライアスロン選手権	
9月中旬	東北学連夏合宿	→中止
10月16日	日本学生トライアスロン選手権渡良瀬大会	
1月下旬	第二回学連総会	→中止

#### <概要・コメント>

上記の通り、新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動が中止となりました。

このような状況の中、東日本学生トライアスロン選手権、日本学生トライアスロン選手権渡良瀬大会の開催やその他運営にご尽力いただきました。この場を借りて改めて感謝を申し上げます。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

関東学生トライアスロン連合

2021年度関東代表 工藤 瑞生

### 2021年度関東学生トライアスロン連合活動報告

2021年

6月27日(日) 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会兼関東・東北・北海道学

生トライアスロン選手権那須塩原大会(栃木県那須塩原市)

10月16日(土) 日本学生トライアスロン選手権渡良瀬大会(香川県観音寺市)

10月17日(日) 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会兼日本学生トライアスロンチームTT選手権大会(群馬県渡良瀬遊水地)

#### 《コメント》

新型コロナウイルスの影響により去年の大会は多くが中止となり、開催できた大会についても感染対策などの従来は無かった準備が加わり、慣れない作業の連続となりました。今年度は競技自体のリスクに加え、新型コロナウイルス感染症の感染リスクにおける対応が必要になりました。

以上

関係者各位

東海北陸学生トライアスロン連合

2021年度代表 高濱寛太

## 2021年度東海北陸学生トライアスロン連合活動報告

表題について下記の通り報告します。

### 〈活動内容〉

- 7月11日 西日本学生トライアスロン選手権長良川大会→延期のちに中止
- 8月上旬 合同練習会→中止
- 9月 日本学生トライアスロン選手権渡良瀬大会の代表選出に関する会議
- 10月3日 学連記録会(インカレ代表選出)
- 10月16日 日本学生トライアスロン選手権渡良瀬大会

### 〈総括〉

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々な大会が中止になりました。西日本学生トライアスロン選手権長良川大会も延期や距離等について話し合いも行われましたが、2020年度と同様に中止になりました。インカレ代表選出に関しては少数で活動している大学が多い東海北陸の事情を鑑みまして2021年度は記録会を行い、代表を選出することで、少数で活動している大学の選手にも機会を平等に与えることができました。独自に記録会を開催してのインカレ代表選出は東海北陸学連では前例がないことでしたが、熟議した上で安全等には万全を期して、無事終わることができました。

記録会を行ったことで、学連内では大学の枠を超えて、交流することができました。これまでは学連内での結びつきはあまり強くありませんでしたが、良い効果が生まれたと思います。

各大学ともにコロナ禍の状況ではありますが、昨年度の反省を生かしてそれぞれ練習に対して工夫をしてい  
たと感じます。

※各行事では参加者から費用を調達する形式をとったので、決算報告はありません。

以上



令和4年3月5日

関係者各位

近畿学生トライアスロン連合

2021年度代表 畑 玲音

### 2021年度近畿学生トライアスロン連合活動報告

近畿学生トライアスロン連合の活動をご報告いたします。

#### <主な活動>

10月3日 近畿学生トライアスロン連合特別選考会

10月16日 日本学生トライアスロン選手権大会

12月19日 JTU認定記録会（近畿ブロック/滋賀県会場）

#### <総括>

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響で西日本学生トライアスロン選手権が開催されませんでした。今年度は昨年度と違い、参考にする大会や記録がなく各学校への枠の振り分けができなかったため特別選考会を行いました。西日本学生トライアスロン選手権の中止から2週間でしたが、岡山県の中山サーキットの会場をお借りし、審判協議委員会・岡山トライアスロン協会やOB・OGのご協力もいただき無事開催することができました。選考会を開催するにあたり、感染症対策を行いました。

今年度も近畿2府4県のトライアスロン協会で構成される近畿強化普及委員会の方々と連携し、協調して近畿トライアスロン全体に対する強化、普及についての企画を執り行いました。

以上

関係者各位

中四国学生トライアスロン連合

2021年度代表 赤木大誠

## 2021年度中四国学生トライアスロン連合 活動報告

### 【行事】

2021年

2月12-13日 早春ロングライド合宿（社会情勢を考慮し中止）

8月22日 西日本学生トライアスロン選手権長良川大会 兼

東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権長良川大会

（社会情勢により大会中止）

10月3日 中国四国学生トライアスロン選手権代理大会

10月16日 日本学生トライアスロン選手権大会

### 【概要・コメント】

今年度も昨年度と同様にインカレ予選が新型コロナウイルス感染症拡大により中止となり、インカレ出場選手選考は各地方に委譲されました。昨年度は各選手の持ちタイムと現状より、話し合いでインカレ出場者を選出しましたが、今年度は代替予選を実施し、公平性を保ちながら、男子9名（うちBシード1名）、女子1名を選出しました。

日本学生トライアスロン選手権では、男子7名が完走、他はバイクカットという結果になりました。中国四国地方のインカレ完走率は前年度よりも低くなったものの、男子選手1名が個人総合13位、団体順位8位と好結果を残すことができました。今後さらに上位を目指すためには、スイム力向上が必要不可欠だと実感しています。

新型コロナウイルスにより大学間での交流の機会が少なかったものの、最低限の活動を行うことができました。また、インカレ予選・本戦が大きく変更されてしまったことは残念でしたが、学連幹部の方々の努力や、各選手の柔軟な対応により、良い大会になったと感じています。

※各行事で参加者から費用を調達する形をとったため、決算報告はなし

以上

関係者各位

九州沖縄学生トライアスロン連合

2021年度代表 高木基光

## 2021年度 九州沖縄学生トライアスロン連合活動報告

### 【活動報告】

- ・ 6月 九州ブロック選手権大会（天草トライアスロン）（中止）
- ・ 7、8月 西日本学生トライアスロン選手権大会（延期、中止）
- ・ 8月 学連夏合宿（中止）
- ・ 10月 日本学生トライアスロン選手権大会（渡良瀬大会）

日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会

- ・ 12月 認定記録会
- ・ 3月 学連春合宿

### 【概要】

今年度の目標は、コロナ禍での連携強化でした。コロナ禍でトライアスロン大会が開催できるか古閑学連委員長をはじめとする他学連の方との連携を多く図りました。また九州学連でも何度も会議を開き、九州地域のトライアスロン連合の方のお力添えもいただきながら、意見をまとめることができました。

皆様のおかげでコロナ禍という昨年に引き続き制限があるなかでのインカレ開催大変ありがとうございました。しかし一方で7、8月の東日本インカレ延期による代替予選利用選手の対応また、西日本インカレの延期に伴うスプリント化など様々な問題が浮き彫りになったことも忘れてはいけません。コロナ禍での開催、学生が主体といっても限度があり、自由度が制限されるのは承知しておりますが、対応が後手だったこともあり、来年度の対応の参考にしていただければ幸いです。

最後に個人として学生審判を九州から一人も出せないことが心残りですが次の学連に  
たくしたいと思います。

他学連の方にはご迷惑をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

日本学生トリアスロン連合

2022年度大会運営委員長 栗原豊季

**2022年度 学生委員名簿**

2022年3月5日現在の学連委員は表の通りです(敬称略)。

円滑な業務の遂行、2022年度以降の学連委員の確保のためにも、今後も継続的に学生委員を募集して参ります。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度大会運営委員長 沢部 領花

## 2022年度 大会運営委員会活動計画

2022年度、大会運営委員会は以下の大会で運営活動を行います。

## ① 日本学生スプリングトライアスロン選手権大会

日時	5月22日
開催地	渡良瀬遊水地

## ② 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会兼関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権那須塩原大会

日時	6月26日
開催地	栃木県那須塩原市

## ③ 西日本学生トライアスロン選手権長良川大会兼東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権長良川大会

日時	7月10日
開催地	岐阜県海津市

## ④ 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

日時	9月11日
開催地	香川県観音寺市

① 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会兼日本学生トライアスロンチームTT選手権大会

日時	10月16日
開催地	渡良瀬遊水地

② 日本学生デュアスロン選手権大会

日時	2月下旬
開催地	岐阜県海津市

それぞれの大会でボランティア学生の募集、会場設営・撤去、大会当日の運営を行います。

大会運営参加者全員で常に情報を共有し、大会当日までに綿密な準備を徹底して行います。当日は速やかな会場設営・撤去を心掛け、選手の安全を第一に考え、スムーズな大会運営に努めていきます。

以上



関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度審判委員長 渡邊 純一郎

## 2022年度 審判委員会活動計画

2022年度の審判委員会の主な活動計画は以下を予定しています。

### 審判委員活動予定大会

2022年

5月22日(日) 第13回日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会

2022年全日本大学トライアスロン選抜大会 (群馬県板倉町)

6月26日(日) 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会

(北海道・東北・関東学生選手権)(2022)(栃木県那須塩原市)

7月10日(日) 西日本学生トライアスロン選手権長良川大会

(東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生選手権)(2022)(岐阜県海津市)

9月11日(日) 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会(2022)(香川県観音寺市)

10月16日(日) 日本学生スプリント選手権(群馬県板倉町)

2月下旬 日本学生デュアスロン選手権大会(岐阜県海津市)

また、上記の主要大会における審判委員会活動のほか、要請がありましたら、日本トライアスロン選手権など、JTU開催の大会にも審判委員を派遣させていただきます。

### JTU審判資格認定講習会の受講

本年も2月を中心にJTU審判資格認定講習会が開催され、多くの学生が積極的に受講しました。各大会においては、講習会の内容を踏まえ、他の委員会と連携し、また開催地の地域学連や地域協会の方々にご協力をいただきながら、安全かつ公正なレースが展開できるよう審判業務を全うします。

#### 参考

日本トライアスロン連合 公式ホームページ

学生大会 JTU Web Magazine 日本トライアスロン連合

<https://www.jtu.or.jp/event/category/gakusei/> 2022/02/09最新版を取得

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度総務委員長 庄原八雲

## 2022年度 総務委員 活動予定計画

### 1. JTU登録承認

学生のJTU登録承認作業を行う。学生以外の誤った承認や登録年度の正誤を確認しながら、注意深く業務を行なっていく。今年度は、昨年に引き続き、コロナウイルス感染拡大の影響による大会の延期及び中止の判断が下される可能性もあり、大会前に登録が集中することも予測される。HPや各チームに対する呼びかけを通じて、余裕を持った登録をするよう呼びかけていく。

### 2. 各大会選手リスト作成

1. 日本学生スプリングトライアスロン選手権大会
2. 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会 兼 関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権那須塩原大会
3. 西日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄トライアスロン選手権長良川大会
4. 日本学生トライアスロン選手権観音寺大会
5. 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会 兼 日本学生トライアスロンチームTT選手権大会

上記5大会における、選手リストの作成を行う。大会前日にはトラバックの作成を行い、当日には受付業務と本部窓口を担当する。

### 3. 領収書対応

学生から領収書発行の依頼のメールを受け取り、内容に漏れがないか確認し、期日内に作成、郵送する。学生トライアスロン大会以外に関しては領収書発行をしないよう注意する。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度広報委員長 秋田 佳輝

## 2022年度 広報委員長活動報計画

### 1. HPの管理、Twitterの更新

HPには各大会のエントリー開始・注意事項・スタートリスト・リザルトを掲載する。大会直前等の緊急な変更情報はTwitterアカウントにて掲載する。情報の錯乱を防止するために掲載事項は可能であればソース元が我々であることを示す。(電子等)コロナの影響によりコロナの開催有無が決定された時には学生委員長の栗原と連携し、Twitterで情報を発信するよう努めた。

### 2. 大会業務

大会一覧

月 レース

5月 日本学生スプリングトライアスロン選手権渡良瀬大会兼2021日本学生トライアスロン選抜大会

6月 東日本学生トライアスロン選手権那須塩原大会兼関東・東北・北海道学生トライアスロン選手権那須塩原大会

7月 西日本[K8]学生トライアスロン選手権長良川大会 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権長良川大会

8月

9月 日本学生トライアスロン選手権

10月 日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロンチームTT選手権

### 3. 業務内容と詳細

長尾からTwitterの管理方法を共有し、広報委員長の役割を引き継いだ。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度選手強化委員長 岡村 啓吾

## 2022年度選手強化委員会活動計画

### 1. エリート推薦

2022年度における加盟団体推薦の必要とされる主なエリートレースは以下の通りである。推薦方法については昨年度と同様とする。

第12回日本U23トライアスロン選手権 (2022/開催地調整中)

第24回日本U19トライアスロン選手権 (2022/開催地調整中)

第28回日本トライアスロン選手権(2022/お台場)

第26回日本ロングディスタンストライアスロン選手権 (2022/佐渡)

第19回日本デュアスロン選手権(2022/開催地調整中)

\*昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により開催未定のエリートレースが複数あるため、今後の動向に注視することとする。

メールの内容、およびフォーマットを以下のようにし、学連側のメールのチェック漏れや選手側の記載事項漏れをなくす。

件名 [ 加盟団体推薦/氏名 ]

氏名

フリガナ

電話番号

所属（大学名/チーム名）

参加希望大会名称

出場カテゴリー

大会実績（名称/距離/順位/タイム）...主要な大会のみでよい

認定記録会（年月/会場/記録/s400-r3000）

ドラフティング講習会（年月/会場/講師）...大会から過去2年以内に受講したもの

20歳未満の場合ドーピング検査の親権同意書を提出しているか

2.全日本学生トライアスロン選手権でのドラフティング講習会

例年通り行う予定

以上



関係者各位

北海道学生トライアスロン連合

2022年度代表 橋本直樹

## 2022年度北海道学生トライアスロン連合活動計画

表題につきまして、下記の通りに活動いたします。

### 2022年度

6月 北海道学生トライアスロン選手権大会

9月 日本学生トライアスロン選手権大会

### 活動予定

昨年度に引き続き、大会及び合宿の開催は見通せない状況になっております。また、練習環境につきましても、オミクロン株の影響で一部施設の利用禁止等が課されています。(2月9日現在) コロナの状況によっては更に禁止期間が延長される可能性があります。オンラインのツールを使った個人間の情報共有をしていながら、引き続き個人練習が中心の活動となります。

2021年度の北海道学生トライアスロン選手権大会は、2019年度まで使用させていただいていた苫小牧の会場が石油プラント改修工事のため昨年度に引き続き使用不可となる可能性があり、北海道トライアスロン連合と協議していきたいと思っております。今年度は昨年度同様、関東・東北の大会での併用開催も視野に調整していきたいと考えております。

2021年度は他所属の学連の皆様との交流が難しく疎遠となってしまいました。2022年度はコロナが治まりましたら、合宿や大会に積極的に参加したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。また、クラウドなどを使用して、知識の共有・モチベーション向上につながる仕組みを考えていきたいと思っておりますので、ご協力頂ければ幸いです。

## 2022年度北海道学生トライアスロン連合予算案

北海道学生連合では、合宿や選手権などの費用をその都度参加者より調達しておりますので予算案はございません。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

東北学生トライアスロン連合

2022年度代表小野史佳

## 2022年度東北学生トライアスロン連合活動計画

令和4年度の東北学生トライアスロン連合の活動計画をご報告いたします。

### 活動予定

3月上旬	東北学連春合宿
5月中旬	第一回学連総会
6月上旬	新歓トライアスロン
6月	東北学生トライアスロン選手権
9月中旬	日本学生トライアスロン選手権大会
9月中旬	東北学連夏合宿
12月上旬	第二回学連総会

### <概要・コメント>

新歓トライアスロンは新型コロナウイルスの影響もあるため、臨機応変に対応を進めていきます。

インカレ予選については出場選手がインカレの出場枠数に影響するため、各大学にエントリー漏れなどがないように声かけしていきます。

新たな変異株の影響により、まん延防止措置が発令するなど、新型コロナウイルスの脅威は未だ続いております。2022年度もその影響を大いに受けることが予想されます。大会の開催、参加に当たって感染対策を徹底するとともに、柔軟に対応できるよう準備してまいります。

以上

関係者各位

東海北陸学生トライアスロン連合

2022年度代表 晴枝和也

## 2022年度東海北陸学生トライアスロン連合活動計画

### 〈活動計画〉

7月：西日本学生トライアスロン選手権長良川大会

8月：合同練習会

9月：日本学生トライアスロン選手権観音寺大会

### 〈概要〉

2021年度ではインカレ代表選出のための記録会により、学連内の交流が盛んになりましたので、2022年度は合同練習会を行うなどして、さらにお互いに高め合って強化に努めていきたいです。特に東海北陸学連は男女ともにスイムの実力が弱く、インカレではバイクでカットされてしまうことが多いので、スイムの強化を重視したいと思います。また、部員が著しく減少している大学もあるので、工夫もしていかなければならないと考えています。

7月の西日本学生トライアスロン選手権長良川大会は過去中止がありまして、初めての開催となります。地元開催であるため、ボランティアをできる限り出すことで協力していきます。さらに地元の連合や協会からボランティアの派遣を依頼されることもあるため、今後も学生トライアスロンに協力してもらうためにも積極的に派遣していきたいです。

全体として2022年度も連絡を密に取り、様々な意見を聞きながら活動していきたいです。

以上

令和4年3月5日

関係者各位

近畿学生トライアスロン連合

2022年度代表 渡邊龍太郎

## 2022年度近畿学生トライアスロン連合活動計画

### 2022年 年間計画

#### 2022年

2月6日 認定記録会 (京都)

7月10日 西日本学生トライアスロン選手権大会

9月11日 日本学生トライアスロン選手権大会

11月20日 認定記録会 (滋賀)

#### 概要

昨年は一昨年に続き、学連合宿などを含めたお互いの大学と交流する機会の多くが中止となりました。今年度はSNSを有効に活用して、合同練習などが開催できなくても他大学を意識して練習できるように取り組みたいと考えています。今年も多くの大会が中止になることが予想されます。今まで以上に大学同士での情報共有を大切に、オンラインでの交流を積極的に行いながら学生が全力でトライアスロンをできる環境を作っていきます。

また近畿普及委員会の方々とも昨年度と同様に、より一層連携を深めていき強調して近畿のトライアスロン全体の強化に努めていきます。よろしくお願ひします

以上

関係者各位

中四国学生トライアスロン連合

2022年度代表 清宮夏生

## 2022年度中四国学生トライアスロン連合 活動計画

### 【行事】

2022年

2月 早春ロングライド合宿（社会情勢を考慮し中止）

7月 西日本学生トライアスロン選手権

8月 中国四国合同強化練習期間（案）

9月 日本学生トライアスロン選手権

### 【概要・コメント】

2022年度のインカレ予選開催方法は現在のところ不明ですが、予選・本戦ともに、開催に際しましては、競技のみでなく、大会準備・運営にも尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

2022年度の中国四国地方の目標は、出場選手全員の完走はもちろんのこと、前年度以上の順位を目指すことです。引き続きスイム力向上に重きを置き、バイク・ランの強みを生かせるようにします。また、2021年度インカレ本戦では、女子出場選手数が枠数を下回ってしまいました。今年度は各チームで協力し合い、女子選手育成にも尽力していきたいと思います。

2022年2月にはロングライド合宿を予定していましたが、社会情勢を考慮し、中止することとしました。今年度こそはインカレ予選・本戦をはじめ、各行事や大会が通常開催できるよう、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着くことを祈っています。

※予算はないため、予算案なし

以上

関係者各位

九州沖縄学生トライアスロン連合

2022年度代表 西山凜希

### 2022年度 九州沖縄学生トライアスロン連合活動計画

#### 【活動計画】

- ・ 7月 西日本学生トライアスロン選手権大会
- ・ 8月 学連夏合宿
- ・ 9月 日本学生トライアスロン選手権大会
- ・ 10月 日本学生スプリントトライアスロン選手権大会
- ・ 12月 認定記録会
- ・ 3月 学連春合宿

#### 【概要】

コロナ禍により、ここ2年間学連合宿が行われていないため、今年こそは合宿を執り行いたい。新入部員の落車が多くあったので、技術練を徹底させる。九州ブロックのインカレ選手枠が近年多いので、全員完走はできるようにレベルの高い選手を増やしたい。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2022年度学生委員長 栗原 豊季

## 2022年度 全日本大学トライアスロン選抜大会 招待枠について

### 1. 出場枠数

以下の順位に該当する大学が2022年度全日本大学トライアスロン選抜大会の招待枠を獲得する。

#### ■男子・・・7校

- ① 2021年度 日本学生トライアスロン選手権大会 団体上位6校
- ② 2021年度 日本学生スプリント・チームTT選手権大会 団体上位1校
- ③ 2021年度 日本学生デュアスロン選手権大会 団体上位0校

#### ■女子・・・5校

- ① 2021年度 日本学生トライアスロン選手権大会 団体上位4校
- ② 2021年度 日本学生スプリント・チームTT大会 団体上位1校
- ③ 2021年度 日本学生デュアスロン選手権大会 団体上位0校

※ロールダウンは①>②>③の順で発生する。

※2021年度は③が開催されなかったため、獲得校は0校となっている。

### 2. 招待枠獲得校: 男子

#### ①

1位 日本体育大学

2位 立命館大学



- 3位 慶應義塾大学
- 4位 日本大学
- 5位 東北大学
- 6位 早稲田大学
- 7位 同志社大学 注1

②

- 1位 日本体育大学

注1: 大学重複によるロールダウン発生

今後、招待枠辞退などによってロールダウンが発生する可能性が高い大学は、順に、  
広島大学、九州大学、順天堂大学、中部大学、神奈川大学、近畿大学である。

### 3 . 招待枠獲得校：女子

①

- 1位 日本体育大学
- 2位 東海大学
- 3位 東北大学
- 4位 筑波大学

②

- 1位 日本体育大学
- 2位 立命館大学 注1

注1: 大学重複によるロールダウン発生。(①出場校が4校であるため②でロールダウン)

今後、招待枠辞退などによってロールダウンが発生する可能性が高い大学は、  
同志社大学である。

以上

関係者各位

日本学生トライアスロン連合  
2022年度大会運営委員長 沢部 領花  
2022年度学生委員長 栗原 豊季

## 2022年度日本学生トライアスロン選手権出場資格について

以下の3通りの方法によって2022年度日本学生トライアスロン選手権出場資格を得ることができる。

1. 地域予選からの出場

2. シード権を使つての出場

3. 代替予選からの出場

## 1. 地域予選からの出場

各地域の学生トライアスロン選手権において、通過枠内の順位に入ることによって出場資格を獲得できる。

	男子		女子	
	枠数	増減	枠数	増減
北海道	3	(-1)	1	(0)
東北	15	(0)	2	(-2)
関東	60	(-1)	32	(+5)
東海北陸	11	(+2)	1	(-1)
近畿	26	(-3)	10	(-1)
中国四国	11	(+3)	1	(-1)
九州沖縄	14	(0)	3	(-2)
合計	140	(0)	50	(-2)

※男子の枠数は暫定

※カッコ内は前年度からの増減数

※ロールダウンは各予選地域内で行う。

例) 東北ブロック予選において出場権を獲得した選手が出場辞退した場合は、東北ブロック内でロールダウンが発生する。

## 2. シード権の使用

### 1 Aシード

∅ 2021年度日本学生トライアスロン選手権男女各上位6名

∅ JTU 強化指定選手

#### 【Aシード申請フォーマット】

宛先 jutu19info@gmail.com

件名 インカレ A シード申請/氏名

記載事項 A シード内容(前年度入賞 or JTU 強化指定選手)・

本年度 JTU 会員番号 (Uから始まるもの)

※Aシード申請は必ず日本学生トライアスロン選手権大会のエントリーを始める前に申請してください。

※今年度のAシード申請締め切りは6月12日とします。(厳守)

### 1 Bシード

∅ JTUジュニア強化指定S・A・B・C選手

∅ JTU 認定記録会13級以上

※前年度の日本学生トライアスロン選手権大会以降に獲得したものに限る。

※申請がある都度審査いたしますので、該当すると思われる選手は学連のメールアドレスへご連絡ください。

## 注意事項

n B シードは地域予選通過枠に含む

B シード利用者の所属地域から、地域予選通過枠を削減する。

例)関東ブロック地域予選枠 80、関東所属の B シード利用者 10 の場合、関東学生トライアスロン選手権大会で 70 位(シード権獲得者除く)までの選手が出場権を獲得する。

n B シードで日本学生トライアスロン選手権大会に出場する場合は6月12日までに申請を行う(厳守)申請をしなかった場合は出場することはできない。

申請をせずに地域予選に出場し、予選通過ラインを突破した場合は出場することができる。

申請をして地域予選に出場した場合、予選通過ラインを越えていなくても出場できる。

申請締め切り後に B シード利用者のリストを公開する。

地域予選通過枠以上の B シード申請者数であった場合、地域予選通過枠は1となる。

n B シード申請者が出場辞退する場合のロールダウンは認めない。

### 【Bシード申請手続きフォーマット】

宛先 jutu19info@gmail.com

件名 インカレ B シード申請/名前

記載事項 名前、所属大学、所属地域、学年、性別、獲得級、認定記録会会場

以上全てを記載し、メールをお送りください。

### 3. 代替予選の利用について

n 対象選手

1 最終学年の大学生および短大生や大学院生

公務員試験や大学院試験、年に一度のみの国家試験により、やむを得ず所属地域の予選に出場できない場合。

1 各地方予選当日に大会運営に関わる者

日本学生トライアスロン連合の大会運営委員長の承認が必要。所屬地域の大会運営に関わらなかった場合は出場資格の剥奪を行う。

1 国体予選と地域予選の日にちが重なった選手

国体予選に出場しなかった選手およびDNSとなった選手は出場資格の剥奪を行う。

1 その他、特別に出場を認める選手

※不正などの厳罰に対処するために、上記の方法以外の採用は行わない。

n 原則

東日本学生トライアスロン選手権大会の代替予選は、西日本学生トライアスロン選手権大会とする。

西日本学生トライアスロン選手権大会の代替予選は、東日本学生トライアスロン選手権大会とする。

申請締め切りは、代替希望大会の申し込み締め切り2週間前までとする。

(東日本: 6月12日/西日本: 6月26日)

代替予選は地域枠数を使用しない。

n 手続き

以下の形式で、日本学生トライアスロン連合 ( jutu19info@gmail.com ) に申請をする。

件名 : 代替予選申請 / 氏名

本文 : 氏名・性別・大学名・学年・住所・メールアドレス・申請理由

・代替希望大会名

学連が代替予選を利用するのが適当だと認めた場合は、承諾の旨を記載した返信を送る。

申請が許可された選手は日本学生トライアスロン連合のホームページより、代替予選大会のエントリーを期日までに行う。

n 通過条件

- ・ 参加代替大会の予選最終通過者のタイムを基準とする。また、2つ以上の地域予選が併催されている場合、通過ボーダーは高い方を基準とする。

- ・ ただし、代替大会で、代替予選利用選手の所屬地域が設けている予選通過枠を超える代替予選利用選手の予選通過者は認めない。

例) 今年度開催予定の関東学生トライアスロン選手権(女子)に東海地方から4名代替予選利用者が参加した場合、まず、関東選手権の予選通過者のうち、通過タイムが一番遅い選手がボーダーとなる。しかし、代替予選利用者全員がそのボーダーをクリアした場合は、東海地方の枠数を基準とし、確定する。

#### 4. 通過枠計算方法

今年度は日本学生トライアスロン選手権大会の枠数を男子140人、女子50人で計算を行う。

#### A方式

1. それぞれの地域の登録者数を全国の登録者数に対して割合を出す。
2. それぞれの地域の割合に女子は22.5、男子は63をかける。なおここでの四捨五入は行わない。

#### B方式

1. 前年度の日本学生トライアスロン選手権大会の結果を利用して総合順位最下位が1点となり順位が一つ上がるたびに1点高くなるように点数をつけていく。DNF・DNS・DSQは0点とする。
2. ここで、Aシードと代替出場者にはポイントを与えず、ポイントを飛ばすことにする。
3. 各地域のそれぞれの選手の点数を足し合わせていき総合点数を求める。
4. ドント方式の計算式を利用して各地域の枠数を求める。このとき女子は50、男子は140の枠で計算し、後に2で割ったものを用いる。

#### A方式+B方式

1. A方式とB方式で得た値を足し合わせ、小数点以下を切り上げる。

2. 枠数の合計が男女決まった枠数に満たない場合は、小数点第一位が大きい順で1枠ずつ増やし、枠を調整する。

・ 枠数について

例年、男子ではAシード選手を加え150人を超え、大人数によるドラフティングレースとなり危険であるため、今年度は男子のインカレ出場者数を150人から大幅に超えないようにするために、予想されるAシードのおよその数を引いた140人で計算を行った。ただし女子についてはそのままの人数で計算を行った。男子においてAシード申請者数が10人を下回った場合、インカレ枠を「150- ( Aシード選手数 ) 」として再度計算を行い、最終的な地域枠数を出すこととする。そのため140の枠数は暫定版となる。シード申請の締め切りをもって最終的な枠数を公表する。

・ A方式における係数について

2020度までは男子を150人、女子を50人として計算を行っていたが、2021年度以降、男子140人、女子50人で計算する。そこで、2021年度より枠数計算におけるA方式とB方式の比率を男女で0.9:1に統一し、A方式で用いる係数を男子は63 ( 一昨年度は70.6 ) 、女子は22.5 ( 一昨年度は20.6 ) にした。これによりA方式+B方式の計算の際には小数点以下を切り上げたのちに枠数を調整することができる。

男子	A方式			B方式		A+B	切り上げ	調整
	登録者数	割合	*63	ドント式	/2			
北海道	15	0.026	1.6	0	0	1.6	2	3
東北	51	0.087	5.5	17	9	14.0	14	15
関東	257	0.439	27.7	62	31	58.7	59	60



東海北 陸	64	0.109	<b>6.9</b>	6	3	9.9	10	11
近畿	93	0.159	<b>10.0</b>	31	16	25.5	26	26
中国四 国	40	0.068	<b>4.3</b>	11	6	9.8	10	11
九州沖 縄	65	0.111	<b>7.0</b>	13	7	13.5	14	14
計	585	1.000	<b>63.0</b>	140	70	133.0	133	140

女子	A方式			B方式		A+B	切り上げ	調整
	登録者数	割合	*22.5	ドント式	/2			
北海道	3	0.024	<b>0.5</b>	0	0	0.5	1	-
東北	8	0.065	<b>1.5</b>	0	0	1.5	2	-
関東	62	0.504	<b>11.3</b>	40	20	31.3	32	-
東海北 陸	4	0.033	<b>0.7</b>	0	0	0.7	1	-
近畿	25	0.203	<b>4.6</b>	10	5	9.6	10	-
中国四 国	5	0.041	<b>0.9</b>	0	0	0.9	1	-
九州沖 縄	16	0.130	<b>2.9</b>	0	0	2.9	3	-
計	123	1.000	<b>22.5</b>	50	25	47.5	50	-

関係者各位

日本学生トライアスロン連合

2021年度学生委員長 古閑 爽太郎

2022年度学生委員長 栗原 豊季

### 2022世界大学トライアスロン選手権選考結果

2022世界大学トライアスロン選手権大会について、同大会への選手派遣選考選手を下記の基準を持って選出しました。(3月5日現在。今後、辞退により変更の可能性あり)

#### 1. 世界大学トライアスロン選手権大会選考大会及び選考基準

世界大学トライアスロン選手権大会開催前年に開催される①～③の大会にて選考された選手を第一候補選手とする。

① 日本学生トライアスロン選手権世界大学選手権参加有資格者のうち上位3名

② 日本選手権世界大学選手権参加有資格者のうち上位2名

③ U23日本トライアスロン選手権世界大学選手権参加有資格者のうち上位1名

※男女各6名

※優先順位は①→②→③

※大会日程等で前年度選考が無理(難しい場合)等は当年度又は前々年度大会を選考大会にすることもある。

なお、2021年度は②③は同時開催であった。

#### 2. 選考基準補足

A) カットオフタイム適用 (1位タイムより男子5%、女子5%以内のフィニッシュを有効とする。なお、②③

大会においては、ユニバーシアード参加資格者1位のタイムを基準にて移用する。)

B) カットオフタイム内で権利辞退によるロールダウンを認める。

C) 世界大学選手権の参加資格は、大会開催年1月1日時点で、17歳以上28歳未満のもので、なおかつ、大学又は大学院に在学中、もしくは大会の前年に大学又は大学院を卒業したもの。

備考1) 上記基準は、関係各団体との調整により、変更することがある。

備考2) 上記大会への派遣基準は別の定めによる。

備考3) 2022年度は、日本学生トライアスロン選手権観音寺大会と大会日程が重なっているため、今後新たに権利辞退者、ロールダウン発生が起り得る。

### 3. 出場権利獲得者：男子(敬称略)

#### ①

1位	小川 颯斗	日本体育大学	1:53:25	
2位	花岡 秀吾	日本体育大学	1:53:54	
3位	小林 祐也	日本大学	1:54:15	
4位	佐山 拓海	東北大学	1:54:21	注1

#### ②

1位	徳山 哲平	早稲田大学	1:52:46	
2位	長正 憲武	福島大学	1:55:06	

#### ③

1位	徳山 哲平	早稲田大学	1:52:46	
----	-------	-------	---------	--

注1: 選手重複によりロールダウン発生

### 4. 出場権利獲得者：女子(敬称略)

①

1位	武田 結	東北大学	2:12:08	
2位	池口 いずみ	日本体育大学	2:13:04	
3位	佐藤 姫夏	敬愛大学	2:13:26	
4位	白石 怜佳	立命館大学	2:15:01	注 1
5位	吉田 琉七	国士館大学	2:17:55	注 1
6位	加塩 桃乃	早稲田大学	2:18:08	注 1

②

2位	佐藤 姫夏	敬愛大学	2:07:59	注 2
----	-------	------	---------	-----

③

該当者なし				注 2
-------	--	--	--	-----

注 1 出場権辞退者ならびに選手重複によりロールダウン発生

注 2 : 1位の中山 彩理香(日本大学) は出場権辞退

以上